

## 透析治療中に災害が起こったら？ その後に治療を受けるには？

チェック欄	No.	チェック内容
<input type="checkbox"/>	1	<p>治療中に災害が起きたら、まず、針が抜けないように血液回路（チューブ）をしっかりと握り、ベッドの柵につかまって振り落とされないようにします。毛布などをかぶって落下物から身を守ります</p> <p>緊急時には、患者さん自身が針を抜く、回路を切るなど対処しなければならないケースも考えられます。病院に緊急離脱セットが用意されている場合は、使用方法を事前に教わっておくとよいでしょう。</p> <p>避難時にはスリッパは危険です。透析室は靴（あるいは室内用の靴）を利用することをお勧めします。</p>
<input type="checkbox"/>	2	<p><b>医師や医療スタッフの指示に従って避難しましょう</b></p> <p>針を抜いた際には、穿刺部の消毒や傷の手当てを受けてください。また、次の透析予定について指示を受けてください。</p>
<input type="checkbox"/>	3	<p><b>救助隊には自分が透析患者であることを申し出て、協力してもらいましょう</b></p>
<input type="checkbox"/>	4	<p><b>透析治療を受けている医療機関に連絡しましょう</b></p> <p>自分の状態を報告し、病院の状況を聞いて治療できるかどうか確認してください。治療できない場合には、治療再開までの日数と他の医療機関で治療する方法について確認してください。</p>
<input type="checkbox"/>	5	<p><b>透析を受けられる医療機関を探しましょう</b></p> <p>透析治療を受けている医療機関と連絡がとれない場合は、災害時にその病院と協力関係にある医療機関や最寄りの保健所に連絡するか、地域で指定されている拠点病院に連絡してください（連絡先を事前に調べておきましょう）。</p> <p>また、インターネットに接続できる環境であれば、日本透析医会「災害時情報ネットワーク」(<a href="https://www.saigai-touseki.net/">https://www.saigai-touseki.net/</a>)などで治療を受けられる医療機関を探すこともできます。</p>